

## 第15回吹田市総合計画策定委員会議事概要

- 1 日 時 平成24年12月3日(月) 午前9時から午前9時50分まで
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席者 別紙(出欠一覧)参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 吹田市総合計画審議会の主な意見について  
(2) 資料-2 総合計画基本計画(素案)検討スケジュール  
(3) 資料-3 総合計画基本計画(素案)の検討について  
(4) 参考資料 吹田市総合計画吹田2020ロードマップ  
(5) 追加資料 吹田市総合計画審議会委員名簿

### 5 議事内容

- (1) 総合計画審議会について  
資料-1を用いて、審議会での主な意見について説明を行った。
- (2) 今後の総合計画(素案)の検討について  
ア 総合計画基本計画(素案)検討スケジュールについて  
資料-2を用いて説明を行った。  
イ 総合計画基本計画(素案)の検討について  
資料-3を用いて説明を行った。

#### 【質疑応答事項】概要

質問1: 総合計画審議会の会長・副会長が誰なのか。また、審議会を2つの部会に分ける際、部門、分野、基本方針(ルート)をどう整理するのか。

回答1: 会長は今川委員、副会長は久委員である。部会は、環境や都市計画など分野で分けようと考えている。基本方針(ルート)とは現計画の施策大綱のことで、部門と同等である。分野は部門より広い概念で、環境基本計画や都市計画マスタープラン、地域福祉計画などの分野別計画が網羅する範囲である。

基本計画に関する調査シートの「まちのイメージ」は、参考資料の32、33ページにある7つの基本方針(ルート)をブレイクダウンした施策であり、33のシートができる。このほかに、基本方針(ルート)を推進する基本姿勢として行政経営、市民自治がある。現在ベースと表現しているが、審議会の意見を受けて今後変更することもある。

意見2: 基本方針(ルート)、部門、分野などの関連を図示して欲しい。

回答2: 次回資料を用意する。

質問3: 基本計画に指標を掲載するのは決定事項か。

回答3: 指標を掲載することの是非も含めて議論いただきたい。

質問4: 今後基本計画は議決が必要となる中で、指標が議決の対象になることについてどう考えているのか。

回答4: 具体的な数値で示すことが難しければ、矢印で方向性だけでも示したい。

意見5-1: 環境基本計画は審議会ですべて毎年指標を見直しているが、基本計画も毎年見直し議決するのか。指標は具体的な数字であっても矢印であっても議決の対象になること

に変わりはない。

意見 5 - 2 : 基本計画に示す指標はあくまで目標であり、分野別計画と整合することに留意すればよいのではないか。

回答 5 : 資料-3 に、指標の確定が困難な場合の対応を説明している。また、必ずしも分野別計画の指標と一致する必要はないと考えている。市民意識調査による市民満足度でも良いのではと考えている。

意見 6 : 総合計画に記載する指標は頻繁に変えるものではないと思うが、設定するには期間が長すぎて分野別計画との乖離が起きるのではないか。資料-3 の調査シートにある例示も個別具体的なもので、修正が必要になりそうだ。現計画に指標を載せなかった経緯を踏まえて検討する必要があるのではないか。

回答 6 : 現計画では指標は別添となっている。昨今は施策ごとに指標を設定し、計画の進行管理を行う方法が一般的になっている。

質問 7 : 基本計画を議決する市でも指標を掲げているか。

回答 7 : 基本計画を議決する市は少ないので確認できていない。指標は市民への強いメッセージとなるので掲げたい。

意見 8 : 指標や目標値の妥当性について、十分説明できるようにしておくことが必要となる。

意見 9 : 指標と目標の意味を定義する必要がある。市民への分かりやすさという観点からは数値が適切だと考えるが、分野別計画で指標や目標が見直しされたら、その都度基本計画も見直して議決を経ないといけないと考える。

意見 10 : 資料-3 の 1 ページに分野別計画の指標と同じである必要はないとあるが、全く質の異なる指標や目標が出てくることは考えにくい。指標や目標の見直しは中間年の見直しだけではないのか。実際に各部局で行っている事業の進行管理とレベルを分けて施策レベルで考えることができないか。

意見 11 : 環境基本計画は指標及び目標を毎年見直している。目標達成済みとなる施策や数値目標がない施策まで様々である。それらを基本計画に反映することを想定しているか。別添としてはどうか。

回答 11 : 計画書への指標の掲載の是非などについては最終的には策定委員会での議論とす  
るとして、作業部会の検討においてはそのための材料として、指標を挙げていただきたいと考えている。

意見 12 : 作業部会での検討に当たっては、目標値を掲げることによる問題点、課題などについても整理すべきである。

指示 13 : 指標については引き続き検討を続けること。

## 1 委員

	構成委員	第15回 (12/3)
1	山中副市長	
2	清多水道事業管理者	
3	牲川病院事業管理者	
4	西川教育長	
5	赤野危機管理監	
6	川下総務部長	×
7	太田行政経営部長	
8	木下市民生活部長	
9	木野内人権文化部長	
10	平野まち産業活性部長	
11	赤松こども部長	
12	門脇福祉保健部長	
13	羽間環境部長	
14	森都市整備部長	
15	保田道路公園部長	
16	井口下水道部長	
17	西山会計管理者	
18	松中消防長	(代理) 山崎室長
19	川上水道部長	
20	坂田市民病院事務局長	
21	徳田教育総務部長	
22	梶谷学校教育部長	(代理) 橋本次長
23	上原教育委員会事務局理事	×
24	原田地域教育部長	

22

## 2 事務局

1	美馬次長	
2	井尻次長	
3	春藤室長	
4	木下総括参事	
5	岸本参事	
6	津田主査	
7	十川係員	
8	稲見係員	
9	藤田臨時雇用員	×

8